

## 目標達成計画

作成日: 平成 27年 6月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期について、ご本人ともご家族とも具体的に話し合えていない。	①終末期について、少しでもご本人が明確に意思表示ができる間に意向をお聴きする。 ②ご家族にも意向をお聴きする。	①職員に本項目について説明をする。 ②年度2回開催している「家族会」にてご家族に説明する。 ③入居者担当職員を中心に、ご本人・ご家族に意向をお聴きする。	10ヶ月
2	35	年度2回の消防訓練は実施しているものの、まだ全職員が「いざ」というとき(災害時)にスムーズに対応できるまでには至っていない。	「いざ」というときに、迷わずに行動できるように、何をすればよいのかの手順をわかりやすく職員に周知し、訓練で実践する。	①自衛消防隊長・副隊長を中心に、発災時手順をわかりやすくまとめる。 ②職員に周知する。	6ヶ月
3	20	お一人お一人の馴染みの人・場所の把握がまだ不十分。	昨年よりセンター方式シートのご家族に依頼しているがまだ揃っていない。シートをお渡ししての記入はご家族負担も大きい為、面会時等に口頭で聞き取りをさせていただいたり、ご本人にお聴きしたりして把握に努める。	①各入居者担当職員がまずセンター方式シートの記入に慣れること。 ②その後、「知りたい情報」で「まだ知らない情報」を中心に情報を把握する。	10ヶ月
4	26	介護記録の内容が、「実施したこと」だけになってしまっていることがある。	職員みんなで入居者の「表情や発言」の記録に留意する。	職員会議で「記録」内容・方法について、再度周知して、より現状に合った介護計画の根拠とできるよう入居者の「表情や発言」の記録に留意する。	4ヶ月
5	49	外出支援は力を入れている点。しかし、外出希望の強い方や歩行がスムーズな方に外出が偏る傾向がある。また、その点の打開の工夫が不十分。	車イスや重度の方の外出・外気浴支援を増やす。	現在も行なっているが「外出・外気浴・外食」表で実施状況を把握。それに加えて、実施が少ない方に対してどのようにして支援できるのかを工夫することの意識醸成を図る。	10ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。